

平成 21 年度

学校教育計画

大阪府立大和川高等学校

(全日制の課程 普通科)

目 次

- 第1 学校教育目標

- 第2 学校教育活動の方針
 - 1 学習指導の方針
 - 2 特別活動の方針
 - 3 道徳教育及び生徒指導の方針
 - 4 進路指導の方針
 - 5 人権尊重の教育方針
 - 6 健康管理と指導の方針
 - 7 学校運営の方針

- 第3 本年度重点となる教育目標・計画
 - 1 本年度の教育目標、重点目標
 - 2 各教科の教育計画
 - 3 学年の教育計画

- 第4 校務分掌
 - 1 校務分掌表
 - 2 各校務分掌の教育計画
 - 3 各種委員会
 - 4 学年主任・学級担任・副担任一覧表
 - 5 部活動顧問一覧表

- 第5 行事予定表

- 第6 教育課程表

第 1：学校教育目標

憲法、教育基本法及び関係諸法令等の規定に従い、

- (1) 自ら課題を見出し、課題解決に立ち向かう気力・体力・知力を培い、
- (2) 国際社会にあつて、自らを律する力を養うとともに互いの個性や特性を尊重しあう態度を身につけさせ、
- (3) 生活・文化・産業の中心的な担い手となるように育成する。

<本年度の重点目標>

魅力ある学校とは、教職員の特性や魅力が発揮されている。教職員の指導に触発され、自尊感情を高め、目標に向かって、喜々として成長できる魅力ある学校づくりを進める。

第 2：学校教育活動の方針

1 学習指導の方針

- (1) 教科間のバランスがとれたカリキュラムを設定し、1,2年生では、復習の徹底により基礎学力の充実をめざした授業を展開する。
- (2) 特に英語においては T-NET を活用し、少人数指導を実施する。
- (3) 3年生においては、「理数」と「総合」の2つのコースを設定し、生徒の興味や関心、進路希望に対応する。
- (4) 進路希望の実現のため、放課後や長期休業中には「実力アップ講座」を開講する。

2 特別活動の方針

特別活動は、人間としての在り方・生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養うことを目標とし、集団での活動を通して、心身の調和のとれた発達を促し、生徒の人格形成上重要な役割を果たす。

特別活動を通じて豊かな感性を育むとともに、基本的な生活習慣、集団としての規律、連帯感、協調の精神などを身につけさせる。

ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事など特別活動の一層の振興に工夫をこらすとともに、各分野との有機的な連携に心がけ、豊かで充実した学校生活を体験させることによって、一人でも多くの生徒が大きな満足を得るような学校作りに努める。

- (1) 行事やLHRを「生徒の成長の場」と捉え、「息抜き」「遊び半分」とは絶対に位置づけることなく、その都度「その取組を通じてどのような力をつけるのか」を明らかにして取り組む。「管理至上」の考え方にも、「自由放任」の考え方にも与しない。
- (2) 生徒会執行部を「開かれた集団」「やる気のある、多様な生徒の集まり」「実務に長け、リーダーシップを発揮できる生徒たち」に成長するよう指導していく。
- (3) 特別活動の現場担当者である学級担任、部顧問が方針を具体化する当事者としての力を発揮できるよう、連絡を密にして支援する。

3 道徳教育及び生徒指導の方針

一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図るとともに、生徒が社会の一員として自らの責仕を自覚し、主体的に自己を生かしていくことができるよう指導することが重要で、この指導を通して「人間としての在り方・生き方」について自己の考えを深めさせる。

また、地元警察をはじめ様々な機関との連携を緊密に図り、規範意識を高め、法令遵守の精神を育成する。

- (1) 本校の生徒指導は、人間尊重の理念に基づき、すべての教職員の共通理解のもとに推進する。
- (2) 教職員が生徒一人一人の状況を的確に把握するとともに、情報の共有化を図り、組織的な対応に努める。
- (3) 生徒との好ましい人間関係を構築し、生徒の内面に触れる指導に留意する。
- (4) 家庭や地域と連携し、それぞれの教育機能を生かした総合的な指導を展開する。
- (5) 自転車通学生徒が全校生徒の8割以上を占めている現状を鑑み、自転車通学の生徒に対し、交通ルールの遵守、正しい交通マナーを身につけさせることはもとより、登下校時における事故防止と地域の人に対する迷惑行為の防止について積極的に指導する。
- (6) 社会の変化に伴う新しい課題に対して、積極的に情報を収集し、職員研修などを通じて共通理解を深め、全生徒に対してタイムリーな働きかけをおこなう。

4 進路指導の方針

生徒一人ひとりの適性・意欲・能力などを十分に見極めた上で、最善の選択へと導くことを基本方針とする。

高校3年間を見据えて、生徒自身が自分の将来に対して自らの力で、逞しく切り開

いていく力を養っていくことを目標とする。

- (1) 必要十分な情報の提供
- (2) 生徒とのきめ細かな面談と適切な指導
- (3) 各学年や分掌との機能的な連携
- (4) 進学・就職など生徒の希望を実現させるための組織的な体制作り
- (5) 進路先の積極的な開拓
- (6) 保護者への情報提供

5 人権尊重の教育の方針

(1) 基本方針

日本国憲法、教育基本法、子どもの権利条約及び大阪府教育委員会の「人権教育基本方針」及び「人権教育推進プラン」に基づき、人間尊重・平等の理念を実現するため、次の観点に立って本校の人権教育を推進する。

- (1) 人権及び人権問題に関する正しい理解を深め、主体的な思考力・判断力を養い、自らの課題として人権問題に取り組むとともに、社会の構成員としての責任を自覚し、豊かな人権感覚に裏付けられた民主的な人間の育成をめざし、学校のあらゆる場面において人権教育を推進する。
- (2) 生徒の実態把握に努め、全ての生徒が豊かな人間関係を結べる環境を整えるとともに、生徒それぞれが自己実現を図り、自立した人間となるような人権教育を推進する。
- (3) 学校生活における様々な人権侵害に対応するため、総合的な相談体制の充実を図る。生徒や、教職員の人権が大きく損なわれるような事象が生じた際は、機を逃すことなく必要な措置を講じる。事実関係を的確に把握し、教育委員会との連携をもとに人権教育推進委員会を中心に職員会議で意思統一を図り、学校全体で組織的に対応する。

(2) 重点目標

人権教育を実効あるものにするためには、生徒が学校生活の中で学んだ内容を単なる知識・理解の段階に止めるのではなく、自らの行動の判断基準として真に身につけ、日常生活に於いて出会う様々な人権問題について、自ら考え、実践することを目標としなければならない。

また、生徒たちが、自らが権利の主体であると同時に、周囲の生徒も同様に権利の主体であるという認識のもと、それぞれの権利を尊重し、社会の一員としての自覚のもとに義務を果たすという基本姿勢の育成をめざした人権教育の推進が必要である。

そのため、本校においては、様々な分野において、次の3つの観点から人権教育を

推進する。

人権及び人権問題を理解する教育の推進

教育を受ける権利の保障

人権が尊重された教育

(3) 重点課題

子どもの人権 (いじめ、自殺など)

障害者の人権

在日外国人の人権

女性の人権

セクシャル・ハラスメント

同和問題

インターネットなど新しい課題への対応

(4) 年間計画

学年	実施日	形式	内容	使用資料	分類
2・3年	4/17(金)	会議	2・3年教科担当者会議	学校資料	
1年	4/23(木)	アンケート	人権教育に関する意識調査	プリント	
1年	4/20(月)	会議	1年教科担当者担当者会議	学校資料	
2年	10/29(木)	人権講演会	未定		
3年	10/29(木)	人権HR	本名と通名	プリント	
全	7月16(木) 12月22日	会議	教科担当者会議		
1・2年	2/3(水)	映画鑑賞	未定		
職員	1/13(水)	研修	職員人権研修 (未定)		

6 健康管理と指導の方針

(1) 本年度の達成目標

疾病予防

- ・健康診断受診の徹底を図り、生徒の健康管理に対する意識の高揚を図る。
- ・各種検診の結果を活用し健康の重要性を認識させるとともに、疾病の早期発見、早期治療に努めるように指導する。

学校環境の清潔維持

- ・校舎内外の清掃分担区域の清掃監督者の指導の下、毎日の清掃の徹底を図る。
- ・清掃が行き届き、落ち着いた良い環境は生活習慣にも良い影響を及ぼし、学習の能率を上げ、情操面とともに落ち着いた心を育み、安全面においても生徒に与える影響は大きいものがある。
- ・清掃活動や、生徒による清掃点を通して自分たちの教室、自分たちの学校という意識を育てる。

学校安全の推進

- ・教育活動全般を通して、自他の生命をかけたがないものとして尊重する精神と態度を確立するとともに、学校内外を含めた自分の生活行動を見直し、安全に配慮し、危険を予測できる力や的確に行動できる力を高めていくよう日頃から注意を喚起していく。

教育相談委員会との連携

- ・教育相談委員会を通じて情報を発信することによって、学校全体で生徒個々が持つ課題を把握し、生徒一人ひとりを支援していく体制を作っていく。
- ・教育センターとの連携やスーパーバイザーの活用など推進していく。

広報活動

- ・「保健だより」や「保健ニュース」を発行し、様々な方面から健康を捉え、生徒一人ひとりの知識と健康に対する意識を高める働きかけをおこなう。
- ・保護者に対してもタイムリーな働きかけをおこなっていく。

(2) 新しい課題への対応

- ・感染症についての情報の収集に努め、迅速な対応をおこなう。
- ・昨年に引き続き「熱中症の予防対策」については万全を期す。
- ・教職員間での共通理解を深め、機微にとんだ対応を心がける。

(3) 職員研修計画

- ・7月に救急処置講習会を実施する。特にAEDの設置に伴い、多くの職員に参加を呼びかける。

7 学校運営の方針

情報の共有と共通理解をキーワードに相互の連携を強め、機動的・組織的な取組を推進する。また「生徒にとって魅力ある学校作り」を目標に学校全体の教育力を高める。

- (1) そのために職員室を学校の拠点として位置づけ、常駐する体制づくりを推進する。

- (2) 授業環境を良好に保ち、学習意欲の向上を図るとともに、魅力ある教育活動の工夫に努める。
- (3) 公開授業や授業研究を積極的に行うことによって、個々の教員の授業力を高める。
- (4) 行事の発展をめざし、感性豊かな人間性の育成と仲間作りを推進する。
- (5) 学校ホームページの活用を通じ情報の発信に努める。

第 3 : 本年度重点となる教育目標・計画

1 本年度の教育目標

(1) 教員の特色・魅力を発揮し、自信を育てる授業の展開

基礎基本の定着を図りながら、学習習慣を確立させる。更に、教える授業から、学び語り発表し合う授業を推進し、対話力のアップを図り、自信を育てる。

- ・教科で、明確な目標・実施計画・検証を行う。
- ・授業アンケートの結果から、生徒や保護者の声を聞き、実践評価を行う。
- ・公開授業の実施で、互いの授業力を向上させる。
- ・多様なニーズにあった教育課程の検討を図る。
- ・生徒の価値観や人権意識の高揚に努め、そして命の尊さを探究できる授業を推進する。

(2) 個々の生徒にあった進路実現

進路実現は、3年間の総決算である。進路指導部と各学年が綿密な連携を図りながら、生徒の自信を育む進路指導を推進する。

- ・進路指導部と学年が一体となって、3年間のキャリアデザインを具体的に考え、1年次から進路実現について意識させ、自信を育てる進路指導の推進を図る。
- ・奨学金制度の活用で、総合情報部と進路指導部・各学年が連携し、生徒の状況や個性を大切にしながら進路実現が可能となるようきめ細かい進路指導を行う。

(3) 文化力のアップで心の教育の充実

学校行事や部活動をとおして、文化力と挑戦の心を育て、一体感の中で友情を深めさせ、元気な学校づくりを進める中で自信をつけさせる。教育相談体制の充実や挨拶運動の展開で、自己実現の支援体制を強化する。

- ・生徒会を充実させ、生徒が学校行事を主体的に運営できるように支援を行い、文化力のアップを図る。
- ・付き添い体制を充実させ、部活動の活性化を図る。
- ・スーパーバイザーの拠点校であることを生徒・保護者に周知し、セクシャル・ハラスメント相談窓口・教育相談窓口等、校内の教育相談体制の充実に努める。
- ・朝の立ち番制度を活用し、あいさつ運動を展開する。また、生徒状況を共有し、日常的な声掛けで、自己実現の支援を行う。

(4) 発信力で開かれた学校づくりの推進

広域中学校からの受検を確かなものとするために、今後も情報を素早く発信できる開かれた学校を目指す。目的を持った中学生が入りたい、また入ってよかったと思える学校づくりを推進する。

- ・ホームページに、教育計画・年間授業計画・進路状況・保護者へのお知らせ・生徒の活動状況を随時掲載し、中学生や保護者に応える教育情報の提供に努める。
- ・学校協議会を開催し、保護者や地域住民の声を学校づくりに活用する。
- ・学校教育自己診断の結果に基づき、課題の解決策を検討し、迅速に対応する。
- ・近隣中学や高校と交流を深め、体験入学・学校見学会・出前授業も生徒が出来る限り、積極的に係るように行う。
- ・地域と交流を推進し、ボランティア活動を推奨する。

(5) 危機管理体制の充実

生徒の命を預かる学校として、生徒の感染症、地震等自然災害、不審者の侵入等の万一の事故などの危機について、教職員が一致して日頃から備える。

- ・結核・麻しん発生の動向に充分留意し、健康観察・保健指導の徹底を図り、感染予防の早期発見に努める。
- ・朝と昼に正門付近で立ち番を行うと共に、適宜教職員による校内巡回を行う。
- ・常に、情報交換や意思疎通を円滑に行い、緊急時に即応できるよう空き時間は職員室に常駐する。
- ・学年集会を定期的に行い集合・点呼を円滑にし、防災避難訓練も適宜実施し、危機時における実践行動力を育成する。

2 各教科の教育計画

* 印は常勤講師

教科	教科主任	教諭	非常勤
国語			
社会			
数学			
理科			
保健体育			
芸術			
家庭			
英語			

国語科

今年度の重点目標

- ・ キーワードを押さえながら読む練習を重ね、内容を把握する能力を育成する。
- ・ 豊かな語彙力を育成し、作文指導、スピーチ指導を通して効果的に自己表現できる能力を養う。
- ・ 漢字の書き取り、古典文法、頻出語彙の意味、四字熟語の学習によって基礎学力の養成に努める。
- ・ 良書の紹介、図書館利用を勧めるなど、できるだけ読書に親しませる。同時に、文学に対する理解を深め学習意欲及び知的な好奇心を高めるとともに、読書感想文などについても積極的に指導する。

年間計画

4月 漢字能力検定 20年度学案内

5月		
6月		
7月	読書感想文指導	追認指導
8月		追認指導
9月	感想文コンクール	追認指導
10月	国語表現（創作）発表	

研修計画
・教材の精選と資料の作成のための教科内研修の実施

社 会 科

今年度の重点目標
<p>復習プリントや小テストなどを実施して基礎的知識の定着をはかるとともに、課題演習などを通じ、まとめる能力、自ら調べる力、発表能力などの育成を行う。</p> <p>また学習の遅れている生徒や、より一層の学習を求める生徒に対しては、補習や長期休業中の課題などにより、個別に対応する。</p>
研修計画
<p>定期的に教科会議を開き、それぞれの教育実践の交流を行うとともに、生徒一人一人の学習到達状況などについても情報交換を行い、生徒の意欲・関心の向上をはかり、教科内容の充実にむけて議論する。</p>

数 学 科

今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を大切にすることを養うとともに、基礎的・基本的な内容の理解が徹底するよう分かりやすく理解できるよう指導を展開する。 ・ 成績不振者に対しては補習や課題点検などの手だてを日常的に行っていく。 ・ 進学希望者に対しては質問会や補習等の機会を設け、より発展的な演習を行い、進路実現へのサポートにも努める。

年 間 計 画	
4月	
5月	追認指導
6月	追認指導
7月	追認指導
8月	追認指導
9月	追認考査
10月	数学検定の案内
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

研修計画

- ・ 日常の授業に関しては、各自の指導方法・内容について積極的に意見交換を行う。
- ・ 定期考査に際しては十分に問題を吟味し、適切な評価がなされるよう検討会を行う。

理 科

今年度の重点目標

- ・ 化学の役割や物質の扱い方を理解させるとともに、物質に対する関心を高めさせる。
- ・ 細胞、生殖と発生、遺伝等、生物の基本的な「つくり」や「はたらき」を理解させる。
- ・ 実験や、問題演習を通じて、物理的な世界の観かたを身につけさせる。
- ・ 地学的な事物、現象についての観察、実験を行い、地学的に探究する能力を育てる。

研修計画

教科担当者どうしの連絡を緊密に取りあい、授業・実験などの改善をはかる。

保 健 体 育 科

今年度の重点目標

- | | |
|----|---|
| 1年 | 保健（生徒自ら健康問題に気づき、思考・判断できる能力の育成）
体育（規律を守りながら、運動の大切さを学ばせる） |
| 2年 | 保健（自分の現在と将来に生かせるように指導する）
体育（体育を通して自主性・協調性を身につけさせる） |
| 3年 | 体育（3年間の総決算としてスポーツをする喜びを体験させる）
ライフスポーツ（人生を通してスポーツに親しむ態度を養う） |

年 間 計 画

4月	新入生体育授業におけるオリエンテーション
5月	スポーツテスト（上旬）
6月	・追認補講 開始
7月	
8月	追認補講
9月	追認考査
10月	
11月	
12月	
1月	保健授業（1年時）における心肺蘇生法の実技講習（ダミー使用）・
2月	
3月	

研修計画

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・週に1回、月曜日1限目を教科会議とし、定期的に教科内研修をおこなう。 ・1月には保健授業（1年時）における心肺蘇生法の実技講習（ダミー使用）
教育センターよりレンタル |
|---|

芸術科

各科目の指導目標

学 年	科 目 (単位)	学年指導目標
1 年	音楽 (2)	視唱力、視奏力を伸ばし、独唱、合唱における表現の工夫や、器楽の楽しさを味わう。
	美術 (2)	絵画、デザイン、鑑賞の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし感性を高める。
	書道 (2)	古典学習を中心に基本点画などの技術指導をすると共に、鑑賞力、表現力を高め芸術としての書の理解を促す。
2 年	音楽 (2)	音楽 の内容をさらに深め、創作活動についても積極的に取り組む。
	美術 (2)	表現、鑑賞の領域をさらに深め、その創造活動を通して、自己認識や他者理解を図る探求心を養う。
	書道 (2)	書道 での内容を深めると共に、様々な書体を学習することで文字の歴史など知識的な理解を深める。
3 年	音楽 (2)	音楽 、 において修得した、読譜力、演奏力を一層高め難易度の高い楽曲に取り組むことが出来るよう指導を行う。
	美術 (2)	創造的な諸活動を通し、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術能力を高める。
	書道 (2)	書道 、 での学習をもとに個性豊かな作品制作を行う。特に自己表現力を通じ、自他の尊重ができる心を育てる。
	器楽 (2)	器楽の演奏に関する知識や技術習得させ音楽性豊かな表現の能力を養う。
	クラフトデザイン (2)	いろいろな素材による工芸制作を通して、用と美を感じる能力を高める。
	書道演習 (2)	実用書や飾るための作品制作をすることにより自己を表現し、また表現された文字の鑑賞能力を高める。本来の文字文化（手書きによる発展）を生活の中で生かせるようにする。
研修計画		芸術科の学習内容の発表の場として、校内や校外において発表の機会を求める。また、定期的に教科会議を開き、研究、協議する。

家 庭 科

今年度の重点目標	
<p>(1 年必修科目：家庭総合)</p> <p>食生活、人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、住生活、消費生活に関する事項を生活科学として理解させるとともに、生活文化とかがわらせて考えさせ、充実した生活を営むことができるようにする。</p> <p>(2 年必修科目：家庭総合)</p> <p>衣生活・食生活に関する事項を生活科学ならびに生活文化の視点から理解させる。また、実習を通して知識と技術を習得させ、充実した生活を営むことができるようにする。</p> <p>(3 年選択科目：被服製作・被服演習)</p> <p>基本的な日常着の製作を通して、創造的に生活するための実践的能力を育てる。また、実習や実技を取り入れて課題に取り組む力を養う。</p> <p>(3 年選択科目：フードデザイン)</p> <p>現代の食生活について、広い視野で理解できるようにする。授業形態を主体的に取り組めるものとする。実習など体験的学習を通して技術の向上と理解を深める。</p>	
年 間 計 画 各科目の取り組みはシラバスに示した通り	
4 月	教科会 本年度の取り組みについて
5 月	教科会 1 学期中間考査について
6 月	
7 月	教科会 1 学期期末考査について、1 学期の学習状況や評価について
8 月	
9 月	教科会 2 学期の取り組みについて
10 月	教科会 2 学期中間考査について
11 月	
12 月	教科会 2 学期期末考査について、2 学期の学習状況や評価について
1 月	教科会 3 学期の取り組みについて
2 月	教科会 3 学期期末考査（3 年生）について、3 学期の学習状況や評価について（3 年生）
3 月	教科会 3 学期期末考査（1、2 年生）について、3 学期の学習状況や評価について（1、2 年生）1 年の取り組みを振り返って

研修計画
<p>教科会議を行い、教科としての取り組みや生徒の学習状況などについての検討を行う。</p> <p>また、指導内容について同一科目の担当者間で情報交換を行い、授業を進める。</p>

英 語 科

今年度の重点目標
<p>1年次においては、読む、聞く、書く、話すという4技能を発達させるための基礎力の充実を図る。ティームティーチングも取り入れて、英語への関心を高める。音読に慣れさせ、間違いを恐れず発話できる姿勢を育てる。2年次以降においては、入試に対応するためにも、読解力、表現力の充実をめざす。基本イディオムの反復練習の徹底をはかり、既習の文法事項を復習しながら幅広い読解力を養成する。</p>

年 間 計 画	
4月	教科指導についての研修
5月	ALTとのティームティーチングについての研修
6月	英語検定指導
7月	進学にむけての講習
8月	教科指導についての研修
9月	進学にむけての講習
10月	英語検定指導
11月	進学に向けての講習
12月	ALTとのティームティーチングについての研修
1月	
2月	次年度にむけての教科指導についての研修
3月	
研 修 計 画	
<p>各学年で連携を取り、各科目の指導目標を明確にさせていきたい。また、演習科目の内容については、最新の入試問題などを精査し、授業に反映させていく工夫をしたい。</p>	

3 学年の教育計画

第 1 学 年

基本方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の確立を目指す。 ・ 授業を大切にさせ、当たり前のことをきちんとやり遂げる習慣を身につけさせる。 ・ 進路 H R や進路スタディワークを活用し進路希望を確立させる。 ・ 進学希望生徒への希望者講習を実施する。 ・ 学習遅進者への基礎学力向上対策を講じる。 ・ 学校行事、部活動への積極的な参加を促す。 ・ 保護者との連携を密にした指導を心がける。 	
今年度の重点目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を確立し、時間を守ることを重視する。 ・ 授業を大切に、やるべきことをきちんとやり遂げる習慣を身につけさせる。 ・ 進路 H R や進路スタディワーク等を通じて進路希望を確立していく。 ・ 進学希望生徒への希望者講習の実施、学習遅進者への基礎学力向上の対策を講じる。 ・ 学校行事にも前向きに楽しく取り組めるように留意・工夫する。 ・ 部活動に積極的に参加することを促し、学校全体としての活性化に寄与する。 	
年 間 計 画	
4 月	基礎学力診断テスト オリエンテーション 遠足
5 月	交通安全指導 進路スタディ&ワーク スポーツテスト 中間考査
6 月	体育祭 進路スタディ&ワーク 三者懇談
7 月	期末考査 講演会
8 月	進学希望者講習
9 月	文化祭準備
10 月	文化祭 中間考査
11 月	進路 H R
12 月	期末考査
1 月	進路 H R
2 月	期末考査
研修計画	
・ 月に 1 回程度の拡大学年会を実施し、生徒の情報を共有する	

第 2 学 年

教育方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の基礎・基本の定着と、自ら学び考える力をつけ、確かな学力を養成する。 ・ 集団生活の中で守るべきルールを尊重し、規範意識の高揚をめざす。同時に他者を思いやる心を身につけ、豊かな心を育む。 ・ 自主活動においては、自ら考え、判断し、行動する力を養うとともに、一人ひとりの個性を伸ばし、想像力を育む ・ 進路意識の向上と進路希望の確立。 	
今年度の重点目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を大切に、集中して受けることで学習の雰囲気を高めていく。 ・ 学校行事の中に学年企画を盛り込み、生徒が主体的に取り組むことを目標とする。修学旅行レクリエーションも自主活動の場と捉え、生徒主導で進行できるよう留意・工夫する。いずれもリーダー育成の観点をもって取り組む。 ・ 進路HRや進路ガイダンスを通じ、進路意識の向上と個々の進路希望を確立していく。 ・ 追認定考査に合格できるよう生徒をバックアップしていく。 ・ 進学希望者講習の実施、学習遅新車への学力回復及び向上の対策を講じる。 部活動では、集団としての規律を保ちつつ、目標達成に向けて日々努力する。 	
年 間 計 画	
4月	基礎学力診断テスト オリエンテーション 遠足
5月	交通安全指導 進路スタディ&ワーク スポーツテスト 中間考査
6月	体育祭 進路スタディ&ワーク 三者懇談
7月	期末考査 講演会
8月	進学希望者講習
9月	文化祭準備
10月	文化祭 中間考査
11月	進路HR
12月	期末考査
1月	進路HR
2月	期末考査
研修計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 月に1回程度の拡大学年会を実施し、生徒の情報を共有する 	

第 3 学 年

基本方針

「関わりを持とう」「関わりを嫌わない」「50分を集中する」

45 着せ入学時からの学年方針・目標である。生徒間や教職員との関係が、お互いに希薄にならず、授業・HR・学校行事・部活動などの場面において、より発展的な活動ができるように関わっていく。最終学年として生徒一人ひとりの目標に向かい、自己実現が達成できるように支援していく。

今年度の重点目標

生徒一人一人が目標を持ち、今年度にはその目標に向かい行動できるようにする。卒業年度に向かい、自己実現へのより具体的な進路設計が出来るように指導していく。

学校行事に対しても、昨年度以上に積極的・自主的に参加していく態度を養う。今年度末の修学旅行に向けて基盤作りをし、生徒にとって有意義な行事とする。

1年生時から2年生時へ進級割合が例年以上によかった。この状態を維持していくためにも、授業を中心とした学校生活の大切さと楽しさを意識させ行く。

生徒の変化をすばやくつかめるように、情報の交換の時期を逃さず実行する。

年 間 計 画

4月	基礎学力診断、HR作り、遠足（飯ごう炊さん）に向けてのクラス作り
5月	スポーツテストでの体力等の確認集団行動への意識作り、中間考査
6月	体育祭に向けてのクラス作り、体育祭、学年での教科別補習開始、進路説明会
7月	期末考査
8月	教科別集中補習、追認考査による単位習得、部活動の集中練習
9月	進路説明会、文化祭に向けての準備
10月	文化祭、中間考査、修学旅行に向けての準備開始
11月	進路説明会、3年生時の教科選択決定
12月	期末考査
1月	進路説明会・ガイダンスによる指導
2月	修学旅行に向けての最終準備、学年末考査
3月	修学旅行

第4： 校務分掌

1 校務分掌表

首席：		中高大連携・地域連携・危機管理・式典・合格者説明会・学校教育自己診断				
総合情報部 : 部長						
総務	ロッカー管理					
	学級写真等					
	職員・名札作成、下駄箱					
	内規					
	奨学金					
	PTA関係					
	同窓会					
情報	図書	図書館予算、図書購入、分類、整理				
		図書室備品整備・管理、図書貸出				
	図書委員指導、資料整備・管理					
	読書指導、広報活動、					
	図書ニュース					
	視聴覚係	文化活動（芸術鑑賞、文化講演）				
	情報視聴覚機器	視聴覚機器管理、パソコンの配置・管理 学情ネット・総務サービスのパソコン管理				
	情報管理	ウェブページの管理				
		情報管理、校内各機関のデータ処理への援助				
生活指導部 : 部長						
指導	校内集団指導	学年指導	服装 遅刻 禁煙 指導	1年		
				2年		
				3年		
			交通安全指導（自転車指導等）			
	校内個別指導	特別指導				
		相談室				
	校外指導	補導センター校外指導				
第6学区 生徒指導主事連絡会						
校外補導連絡協議会						
管理	拾得・紛失・盗難、その他各種届					
	各文書印刷・管理、部予算					
特別活動指導部 : 部長						
生徒会執行部、各種委員会指導						
体育祭担当						
文化祭担当						
部活動指導						
生徒会会計						

教 務 部 : 部長		
	文書管理・保管庫・転入	
	書類・記録	
	機器・印刷室	
	時間割・考査	
	教育課程・内規	
	教科書・副読本	
	教育実習	
	曜日変更	
	入試	
	入試パソコン、データ処理	
	学級編成	
	留学	
	成績処理	
	学習指導・総合的な学習の時間	
	学校外学修認定	
進路指導部 : 部長		
学年企画	1年	
	2年	
	3年	
就職	民間	
	公務員（職業訓練校を含む）	
進学	大学、短大	
	専門学校	
	看護・医療系	
保 健 部 : 部長		
健康管理	健康診断	
	教育相談	
	健康相談	
	生活アンケート	
	統計一般	
環境管理	環境衛生検査	
	清掃・整備	
学校安全管理	独立行政法人日本スポーツ振興センター	
	安全点検、救急処置講習会	
	保健指導（生徒保健委員会）	
事 務 室 : 事務長		
主査 松本	管財係	
	給与庶務係	
	歳入係	
	環境整備	

2 各校務分掌の教育計画

教 務 部

今年度の重点目標

- | |
|--|
| 1. 多様化した生徒への学習指導 : 年間指導計画の作成に際し、指導方法・内容の再点検を行う。生徒・保護者のニーズに合った学習内容を研究する。 |
| 2. 中途退学・留年対策 : 学期ごとの欠点者補習や課題などで、学期成績不振者を放置しない。成績伝票を充実させ、教科担当者と担任の連携を密にする。さらに日常的に担任から保護者への連絡を緊密にする。 |
| 3. 「総合的な学習の時間」の充実 : 担当の委員会・学年との連携をとり、内容の検討をこまめに行い、より充実したものを目指す。 |
| 4. 学校外学修の単位認定の充実 : 教科と連携して生徒への説明会、PR を行い積極的な参加を促す。 |

年 間 計 画

4月	時間割作成、シラバス作成
5月	中間考査に向けて
6月	教育実習、中間考査成績処理、追認考査計画作成、教科書の選定
7月	期末考査に向けて、1学期末成績処理、追認考査に向けて
8月	
9月	追認考査と追認判定
10月	中間考査に向けて
11月	中間考査成績処理、学校設定科目届け
12月	期末考査に向けて、2学期末成績処理
1月	副読本選定
2月	平成21年度年間行事作成、後期入学者選抜準備、卒業判定
3月	年度末成績処理、後期入学者選抜

研修計画

教務事務に関する学習会（転学・退学手続き、指導要録等諸表簿の記入方法） 学習指導計画と評価に関する勉強会

生活指導部

今年度の重点目標

- ・ 遅刻を減らす。
- ・ 頭髪指導を徹底する。
- ・ 制服着こなし指導を強化する。
- ・ 自転車通学の生徒のマナーを向上させる。

年間計画

4月	頭髪指導(8日) 1年交通安全指導(24日)
5月	頭髪指導(21日~27日)・防犯講話(28日)
6月	制服着こなし指導(2日~5日)
7月	頭髪指導(3日~9日)
8月	
9月	頭髪指導(1日)
10月	2年交通安全指導(8日)・頭髪指導(17日~23日)
11月	3年交通安全指導(12日)
12月	頭髪指導(8日~12日)
1月	頭髪指導(8日)・3年生活指導調査(14日)
2月	1・2年生活指導調査(4日)

進路指導部

今年度の重点目標

- (1) 進路指導部長、教務部長、学年主任、教科主任、人推委主担等が相互の連携のもとに、効果的な進路指導体制を確立する。
- (2) 全教員が進路に対する関心を高め、学年会や校内研修等で積極的に情報を交換するとともに、進路指導部と連携を図りながら指導力の向上に努める。
- (3) 第1学年から学年進行に沿って、ホームルーム活動の時間等を利用し、計画的、継続的な進路指導を行う。特に、進路指導計画の中に進路相談・進路懇談会等を明確に位置づけ、その充実に努める。
- (4) 生徒の社会的適応を図るため、生徒個々に応じた指導体制を確立するとともに、必要な情報を分類・整理し、正確な情報を適時提供する。

(5) 就職指導に当たっては、「近畿高等学校統一用紙」の趣旨を徹底し、就職差別に対する意識の高揚に努める。

年間計画	
4月	進路HR<進路希望調査・年間進路計画> 進路コース別説明会<大学・短大・専門学校・就職別>
5月	進路説明会<全学年保護者対象> 進学説明会<3年生全進学者対象> 就職希望者指導開始<就職登録・個人面談>
6月	進学・就職説明会<保護者対象> 進路HR 校外模試 企業訪問
7月	校内模試 夏期講習 求人票閲覧 民間就職推薦会議
8月	オープンキャンパス 就職面接練習 進学夏期講習 校内模試 応募前職場見学
9月	進路HR 指定校推薦会議 入社試験開始
10月	大学入試センター試験出願 専門学校出願開始 進学者対象面接指導開始
11月	私立大学・短大推薦入試開始
12月	私大・短大一般入試出願開始
1月	大学入試センター試験
2月	国公立大学出願開始 私立大学・短大一般入試
3月	国公立大学2次試験 進路状況調査

研修計画 進路研究会発表や各学校説明会、進学業者講習会への参加に努める

保健部

今年度の重点目標

- ・健康診断受診の徹底を図り、生徒の健康管理に対する意識をしっかりと自覚させ、保護者の協力も得られようように努力する。
- ・清掃の徹底は、学習の能率を上げ、情操面、安全面においても生徒に与える影響が大きいため学校全体で協力し、学校環境の清潔維持に努める。
- ・年々、心の健康面で来室する生徒が増えつつあるので、教育相談委員会や外部の機関とも連携を取り、迅速かつ的確に対処していきたい。
- ・救急処置講習会・防災避難訓練を実施し、危機時における実践行動力を育成する。

・養護教諭複数配置を生かして、保健室が機能的に運営できるように考えたい。

年 間 計 画	
4月	健康状況の把握・適切な対応 安全点検
5月	
6月	病気の予防と早期治療 防災避難訓練 清掃点検 学校保健委員会 1
7月	夏の健康管理 救急処置講習会 空気調査
8月	
9月	生活習慣の確立 水質検査
10月	
11月	清掃点検
12月	冬の健康管理
1月	学校保健委員会 2 空気調査
2月	
3月	学校保健計画の評価の反省

研修計画

職員とクラブの代表者の救急処置（AED）講習会

特別活動指導部

今年度の重点目標

- (1) 行事やLHRを「生徒の成長の場」と捉え、「息抜き」「遊び半分」とは絶対に位置づけることなく、その都度「その取組を通じてどのような力をつけるのか」を明らかにして取り組む。「管理至上」の考え方にも、「自由放任」の考え方にも与しない。
- (2) 生徒会執行部を「開かれた集団」「やる気のある、多様な生徒の集まり」「実務に長け、リーダーシップを発揮できる生徒たち」に成長するよう指導していく。
- (3) 特別活動の現場担当者である学級担任、部顧問が方針を具体化する当事者としての力を発揮できるよう、連絡を密にして支援する。

3. 各種委員会

	企画	人権教育推進	入試選抜	教科主任会議	カリキュラム	食堂	教育相談	学校安全	安全衛生	人事	校務検討
教頭											
事務長											
首席											
総合情報											
教務											
生指											
進路											
保健											
特活											
学年											
教科											
事務											
その他											
主坦											

教育相談委員会

スーパーバイザーの存在や活動内容を生徒・保護者に広く知らせ教育相談活動の定着をはかり、委員会の活動内容に関する全職員の共通理解を得て、各分掌・各学年と連携・協力して生徒の抱えるところの問題解決にあたる。

1. 相談室の存在を生徒・保護者・教員にさらに広く認知してもらい、誰にとっても相談しやすい、また来室しやすい環境を整える。
2. 本年度はスクールカウンセラー・スーパーバイザーの拠点校として周辺高校と連携しその運用を円滑に行えるようにする。
3. 校内委員会を定期的にもち、各分掌・学年等との連携を密にした情報交換の場として有効利用をする。
4. 問題事象がおこった場合は委員が少人数で「ケース会議」を持ち、円滑に生徒の問題解決ができるようにする。

人権教育推進委員会

日本国憲法をはじめとする「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」等の関係法令を踏まえ、「人権教育基本方針」「人権教育推進プラン」に基づき、人権教育を計画的・総合的に推進する。

- 1 様々な人権問題の解決に向けて、人権教育を推進し、人権尊重の視点にたった取組を進める。
- 2 同和問題、男女平等、障害者、在日外国人やいじめ、ネットいじめなどの新しい課題にも適切に対応できる校内体制の確立を図る。
- 3 人権侵害の事象が生起した時には、関係機関との素早い連携を図り、機を逸することなく、学校として組織的に対応する。
- 4 教職員の人権感覚をより一層磨くための職員研修を実施する。

4 学年主任・ホームルーム担任・副担任一覧表

学年主任	1 学年		2 学年		2 学年	
	担任	副担任	担任	副担任	担任	副担任
1 組						
2 組						
3 組						
4 組						
5 組						
6 組						
7 組						
8 組						
9 組						

5 部顧問一覧表

平成21年度 部・同好会一覧表							
大阪府立大和川高等学校							
体 育 系							
部							
名称	顧問数	顧問	部員数		男子	女子	合計
陸上部	4		43		10	3	13
					6	6	12
					13	5	18
				小計	29	14	43
水泳部	4		12		0	0	0
					5	3	8
					2	2	4
				小計	7	5	12
ラグビー部	3		4		1	0	1
					1	2	3
					0	0	0
				小計	2	2	4
サッカー部	3		28		6	0	6
					4	0	4
					18	0	18
				小計	28	0	28
バドミントン部	4		15		0	3	3
					0	6	6
					1	5	6
				小計	1	14	15
男子 バスケットボール部	3		20		4	0	4
					6	1	7
					9	0	9
				小計	19	1	20
女子 バスケットボール部	3		11		0	3	3
					0	6	6
					0	2	2
				小計	0	11	11
バレーボール部	4		21		2	0	2
					5	3	8
					2	9	11
				小計	9	12	21
テニス部	4		16		1	0	1
					7	0	7
					5	3	8
				小計	13	3	16
弓道部	4		27		1	3	4
					4	8	12
					6	5	11
				小計	11	16	27

野球部	3			33		8	1	9
						8	1	9
						14	1	15
		小計				30	3	33
空手部	4			9		3	2	5
						0	2	2
						2	0	2
		小計				5	4	9
文化系								
部								
名称	顧問数	顧問	部員数		男子	女子	合計	
軽音楽部	8			63		4	9	13
						11	12	23
						12	15	27
		小計				27	36	63
茶華道部	8			3		0	0	0
						1	1	2
						0	1	1
		小計				1	2	3
美術部	8			7		0	4	4
						1	0	1
						0	2	2
		小計				1	6	7
ダンス部	8			25		0	0	0
						4	11	15
						0	10	10
		小計				4	21	25
吹奏楽部	8			5		0	1	1
						0	3	3
						0	1	1
		小計				0	5	5
同好会								
名称	顧問数	顧問	部員数		男子	女子	合計	
放送同好会	8			10		0	2	2
						0	4	4
						2	2	4
		小計				2	8	10
				学校計	数	男子	女子	合計
				352		40	31	71
						63	69	132
						86	63	149
					小計	189	163	352

第5： 行事予定表

4 月			5 月			6 月		
日	曜日	行 事	日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1	水	職員会議	1	金		1	月	
2	木	新入生結核・心臓検診 視力・聴力検査	2	土		2	火	
3	金		3	日	憲法記念日	3	水	成績提出〆切
4	土		4	月	みどりの日	4	木	体育祭準備
5	日		5	火	こどもの日	5	金	体育祭
6	月	新着任者オリエンテーション	6	水		6	土	
7	火	転入考査・判定会議 職員会議	7	木		7	日	
8	水	始業式 着任式 入学式	8	金	スポーツテスト	8	月	
9	木	離任式 課題考査 着こなし講座	9	土		9	火	職員会議
10	金	新入生オリエンテーション 新入生歓迎会（午後）	10	日		10	水	保護者懇談会 進学保護者説明会
11	土		11	月		11	木	心臓検診2次 保護者懇談会 選択保護者説明会
12	日		12	火	検尿2次 当者会議	12	金	保護者懇談会 教育実習終了 就職保護者説明会
13	月		13	水		13	土	
14	火	検尿1次	14	木	進路HR 職員会議	14	日	
15	水	検尿1次 内科検診（午後）	15	金	（スポーツテスト予備日）	15	月	
16	木	内科検診・身体計測（午後） 職員会議	16	土	第1回授業参観 保護者進路説明会 PTA総会	16	火	
17	金	教科担当者会議	17	日		17	水	
18	土		18	月	代休	18	木	保健講話 進路HR
19	日		19	火		19	金	
20	月		20	水		20	土	
21	火		21	木	中間考査	21	日	
22	水		22	金	中間考査 職員健康診断	22	月	
23	木	歯科検診 人権HR 交通安全指導	23	土		23	火	
24	金	遠足	24	日		24	水	
25	土		25	月	中間考査	25	木	職員会議 学校保健委員会
26	日		26	火	中間考査	26	金	
27	月		27	水	中間考査	27	土	
28	火		28	木	検尿2次 防犯講話	28	日	
29	水	昭和の日	29	金	教育実習開始	29	月	
30	木	進路HR 選挙 職員会議 生徒会役員	30	土		30	火	
			31	日				

7 月			8 月			9 月		
日	曜日	行 事	日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1	水		1	土		1	火	始業式 安全点検
2	木	期末考査	2	日		2	水	短縮授業 追認考査
3	金	期末考査 救急処置講習	3	月		3	木	短縮授業 追認考査
4	土		4	火		4	金	短縮授業 追認考査
5	日		5	水		5	土	
6	月	期末考査	6	木		6	日	
7	火	期末考査	7	金		7	月	短縮授業 追認考査
8	水	期末考査	8	土		8	火	
9	木		9	日		9	水	職員人権研修
10	金		10	月		10	木	職員会議
11	土		11	火		11	金	
12	日		12	水		12	土	
13	月		13	木		13	日	
14	火	成績提出〆切	14	金		14	月	
15	水	学年会議	15	土		15	火	
16	木	成績会議 職員会議 教科担当 者会議	16	日		16	水	就職試験開始
17	金	終業式 大清掃	17	月		17	木	追認判定会議
18	土		18	火		18	金	
19	日		19	水		19	土	
20	月	海の日	20	木		20	日	
21	火		21	金		21	月	敬老の日
22	水		22	土		22	火	
23	木		23	日		23	水	秋分の日
24	金		24	月		24	木	職員会議
25	土		25	火	3年補充授業(振)	25	金	
26	日		26	水	3年補充授業(振) 2年補充授業	26	土	
27	月		27	木	3年補充授業(振) 2年補充授業	27	日	
28	火		28	金	3年補充授業(振) 2年補充授業	28	月	
29	水		29	土		29	火	
30	木		30	日		30	水	
31	金		31	月	3年補充授業(振) 2年補充授 業 職員会議 転入考査			

10 月					11 月					12 月				
日	曜日	行 事			日	曜日	行 事			日	曜日	行 事		
1	木	文化祭準備			1	日				1	火			
2	金	文化祭			2	月				2	水			
3	土				3	火	文化の日			3	木	進路HR		
4	日				4	水	保護者懇談会			4	金			
5	月				5	木	保護者懇談会			5	土			
6	火				6	金	保護者懇談会 第2 回授業参観			6	日			
7	水				7	土				7	月			
8	木	交通安全指導			8	日				8	火	期末考査		
9	金				9	月				9	水	期末考査		
10	土				10	火				10	木	期末考査		
11	日	創立記念日			11	水				11	金	期末考査		
12	月	体育の日			12	木	進路HR 職員会議 交 通安全指導			12	土			
13	火				13	金				13	日			
14	水	中間考査			14	土				14	月	期末考査		
15	木	中間考査			15	日				15	火			
16	金	中間考査 PTA社会見学			16	月				16	水			
17	土				17	火				17	木			
18	日				18	水				18	金	成績提出〳切		
19	月	中間考査			19	木				19	土			
20	火	中間考査 修学旅行			20	金				20	日			
21	水	中間考査 修学旅行			21	土				21	月	学年会議		
22	木	中間考査 修学旅行			22	日				22	火	成績会議 職員会議 教科 担当者会議		
23	金	修学旅行			23	月	勤労感謝の日			23	水	天皇誕生日		
24	土				24	火				24	木	終業式 大清掃		
25	日				25	水				25	金			
26	月				26	木	職員会議			26	土			
27	火				27	金				27	日			
28	水				28	土				28	月			
29	木	人権講演会 職員会議			29	日				29	火			
30	金	成績提出〳切 後期 生徒会役員選挙			30	月				30	水			
31	土	中学生体験入学								31	木			
小 計	学 年	1	2	3	小 計	学 年	1	2	3	小 計	学 年	1	2	3
	教科・科目 の授業日	20	16	20		教科・科目 の授業日	19	19	19		教科・科目 の授業日	16	16	16
	行事日	1	5	1		行事日	0	0	0		行事日	1	1	1
	休業日	10	10	10		休業日	11	11	11		休業日	14	14	14

備考欄.....行事日に 印、休業日に 印

1 月					2 月					3 月				
日	曜日	行 事			日	曜日	行 事			日	曜日	行 事		
1	金	元日			1	月	期末考査			1	月	期末考査		
2	土				2	火	期末考査			2	火	期末考査		
3	日				3	水	期末考査 人権映画			3	水	期末考査		
4	月				4	木	期末考査 生活指導調査 学校保健委員会			4	木	期末考査		
5	火				5	金				5	金			
6	水				6	土				6	土			
7	木	転入考査 職員会議			7	日				7	日			
8	金	始業式 安全点検			8	月				8	月	志願書受付		
9	土				9	火				9	火	志願書受付 成績提出×切 成		
10	日				10	水				10	水	志願書受付 学年会議		
11	月	成人の日			11	木	建国記念の日			11	木	進級判定会議 職員会議		
12	火				12	金	成績提出×切			12	金			
13	水	職員人権研修			13	土				13	土			
14	木	進路HR 生活指導調査 職員会議			14	日				14	日			
15	金				15	月	学年会議			15	月	終業式 大清掃		
16	土				16	火	卒業判定会議			16	火	後期入学者選抜学力検査		
17	日				17	水				17	水			
18	月				18	木	職員会議			18	木			
19	火				19	金	追認考査			19	金			
20	水				20	土				20	土			
21	木				21	日				21	日	春分の日		
22	金				22	月				22	月			
23	土				23	火	追認判定会議			23	火	合格者発表		
24	日				24	水	卒業式予行			24	水			
25	月				25	木	卒業式			25	木			
26	火				26	金	期末考査			26	金			
27	水				27	土				27	土			
28	木	職員会議			28	日				28	日			
29	金	期末考査 PTA委員総会			△					29	月			
30	土									30	火			
31	日									31	水			
小 計	学 年	1	2	3	小 計	学 年	1	2	3	小 計	学 年	1	2	3
	教科・科目 の授業日	15	15	15		教科・科目 の授業日	18	18	5		教科・科目 の授業日	4	4	
	行事日	0	0	0		行事日	1	1	1		行事日	1	1	
	休業日	16	16	16		休業日	9	9	22		休業日	26	26	

備考欄.....行事日に 印、休業日に 印

第6教育課程表

入学年度		H 21						H 21						備 考
		類 型		理数				総合						
		学 年		選	選	計	選	選	計					
教科	科目	学級数	1				7							
国語	国語表現										2	13 15	(技)国語総合の増加単位として2単位を認定	
	国語総合	4					4							
	現代文		3		2			3		2				
	古典		2					2		2				
地理歴史	世界史B		2		2			2		3		10 12		
	日本史B		2		2			2		3				
	地理A										2			
公民	現代社会	3					3					3 5 7		
	倫理									2				
	政治・経済									2				
数学	数学	3					3					11 13 15 17		
	数学		4					4						
	数学				4									
	数学A	2					2							
	数学B			2					2					
	数学C				2									
	(学)数学基礎演習									2				
	(学)数学演習1										2			
	(学)数学演習2										2			
(学)数学応用演習				2										
理科	理科基礎				2					3		9 11 13 15		
	物理				3	2				2				
	化学	3					3				2			
	化学					2					2			
	生物		3					3						
	生物					2					2			
保健体育	体育	3	3		2		3	3		2		10 12		
	保健	1	1				1	1						
	(学)ライフスポーツ									2				
芸術	音・美・書	2					2					2 4 6 8	2年の選択は、1年で選択したと同じ科目の 3年の選択は、2年で選択したと同じ科目の	
	音・美・書			2					2					
	音・美・書									2				
	(学)書道演習									2				
外国語	オーラル・コミュニケーション	2					2					12 14 16	(技)英語の増加単位として1~3単位を認定	
	英語	3					3							
	英語		4					4						
	リーディング				3					3				
	(学)長文読解演習 (学)構文・文法問題演習					2					2			
家庭情報	家庭総合	2	2				4	2	2			4		
家庭	情報C				2		2			2		2		
	フードデザイン						0			2		0、2		
音楽	(学)被服演習									2		4		
	楽器						0			2		0、2		
美術	クラフトデザイン						0			2		0、2		
教科・科目の計		28	26	2	26	2	84	28	26	2	22	6	84	
特別活動	ホームルーム活動	1		1		1	3	1		1		1	3	
総合的な学習の時間		1		1		1	3	1		1		1	3	総合
総計		30		30		30	90	30		30		30	90	
選択の方法		より1科目選択				より1科目選択		より1科目選択				より3科目選択		

入学年度		H 2 0						H 2 0						備 考
類 型		理 数						総 合						
学 年		選	選	計	選	選	計	選	選	計	選	選	計	
教科	科目	1						7						
国 語	国 語 表 現						11					2	13 15	(技) 国語総合の増加単位として 2 単位を認定
	国 語 総 合	4						4						
	現 代 文 学		3		2				3		2			
地理 歴史	古 典		2						2		2		10 12	
	世 界 史 B		2		2				2		3			
	日 本 史 B		2		2				2		3			
公 民	地 理 A											2	3 5 7	
	現 代 社 会	3						3						
	倫 理											2		
数 学	政 治 ・ 経 済											2	11 13 15 17	
	数 学	3						3						
	数 学		4						4					
	数 学				4									
	数 学 A	2						2						
	数 学 B			2						2				
	数 学 C				2									
	(学) 数 学 基 礎 演 習										2			
	(学) 数 学 演 習 1											2		
(学) 数 学 演 習 2											2			
(学) 数 学 応 用 演 習				2										
理 科	理 科 基 礎			2							3		9 11 13 15	
	物 理			3	2						2			
	化 学	3						3				2		
	化 学				2							2		
	生 物		3						3					
	生 物				2							2		
保 健 体 育	地 学											2	10 12	
	体 育	3	3		2			3	3		2			
	保 健	1	1					1	1					
芸 術	(学) ラ イ フ ス ポ ー ツ											2	2 4 6 8	2年の選択 は、1年で選択した と同じ科目の 3年の選択 は、2年で選択した と同じ科目の
	音 ・ 美 ・ 書	2						2						
	音 ・ 美 ・ 書			2						2				
	音 ・ 美 ・ 書										2			
外 国 語	(学) 書 道 演 習											2	12 14 16	(技) 英語 の 増加単位として 1 - 3 単位を認定
	オ ー ラ ル ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2						2						
	英 語	3						3						
	英 語		4						4					
	リ ー デ ィ ン グ				3						3			
(学) 長 文 読 解 演 習					2						2			
(学) 構 文 ・ 文 法 問 題 演 習											2			
家 庭 情 報	家 庭 総 合	2	2				4	2	2				4	
家 庭	情 報 C				2		2				2		2	
	フ ー ド デ ザ イン						0					2	0、2	
音 楽	(学) 被 服 演 習											2	4	
	器 楽						0					2	0、2	
美 術	ク ラ フ ト デ ザ イン						0					2	0、2	
教 科 ・ 科 目 の 計		28	26	2	26	2	84	28	26	2	22	6	84	
特 別 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動	1		1		1	3	1		1		1	3	
	総 合 的 な 学 習 の 時 間	1		1		1	3	1		1		1	3	
総 計		30	30		30		90	30	30		30		90	
選 択 の 方 法		よ り 1 科 目 選 択			よ り 1 科 目 選 択			よ り 1 科 目 選 択			よ り 3 科 目 選 択			

教科	科目	学級数	H19					H19					備考					
			理数					総合										
			選	選	計	選	選	計	選	選	計							
			1					6										
国語	国語表現										2		(技)国語総合の増加単位として2単位を認定					
	国語総合	4					4					13						
	現代文		3		2			3		2		15						
	古典		2					2		2								
地理歴史	世界史B		2		2			2		3		10						
	日本史B		2		2			2		3		12						
	地理A										2							
公民	現代社会	3					3					3						
	倫理										2	5						
	政治・経済										2	7						
数学	数学	3					3					11 13 15 17						
	数学		4					4										
	数学				4													
	数学A	2					2											
	数学B			2					2									
	数学C				2													
	(学)数学基礎演習									2								
	(学)数学演習1										2							
	(学)数学演習2										2							
(学)数学応用演習				2														
理科	理科基礎				2					3		9 11 13 15						
	物理				3	2				2								
	化学	3					3				2							
	化学					2					2							
	生物		3					3										
	生物					2					2							
保健体育	体育	3	3		2		3	3		2		10						
	保健	1	1				1	1				12						
	(学)ライフスポーツ										2							
芸術	音・美・書	2					2					2	2年の選択は、1年で選択したと同じ科目の 3年の選択は、2年で選択したと同じ科目の					
	音・美・書			2					2			4						
	音・美・書										2	6						
	(学)書道演習										2	8						
外国語	オール・コミュニケーション	2					2					12 14 16	(技)英語の増加単位として1~3単位を認定					
	英語	3					3											
	英語		4					4										
	リーディング				3					3								
	(学)長文読解演習 (学)構文・文法問題演習					2					2							
家庭	家庭総合	2	2				2	2				4						
情報	情報A				#2					#2		2	#から必ず1科目選択					
	情報C				#2					#2								
家庭	被服製作										2	0 2 4	被服製作、(学)被服演習両方の選択は不可					
	フードデザイン										2							
	(学)被服演習										2							
音楽	器楽										2	0、2						
美術	絵画										2	0、2	絵画、クラフトデザイン両方の選択は不可					
	クラフトデザイン										2							
教科・科目の計			28	26	2	26	2	84	28	26	2	22	6	84				
特別活動	ホームルーム活動	1	1		1		3	1	1		1		3					
総合的な学習の時間			1	1		1		3	1	1		1		3				
総計			30	30		30		90	30	30		30		90				
選択の方法			より1科目選択				より1科目選択				より1科目選択				より3科目選択			